



発行 KOA 森林塾 (事務局) 0265-70-7065
 編集 早川清志
 題字 島崎洋路

『伐って、集めて、運んで』
 通年コース第九・十回開催報告「伐出」

夏の断末魔が強烈な日差しを浴びせ掛けた二日間。前回間伐をした林分で、様々な機械を使つての集材と伐倒。樹を伐つて、造材し、寄せ集めて、運び出す一連の「伐出」。

近年、山の現場では、伐木造材・集材・積み込みの内、複数の作業が一台で可能な



木立の中をクネクネ！スイスイ？

高性能(多機能)林業機械と呼ばれる大型機械が活躍し始めていますが、狭い間伐林内を動かすことができないし、傾斜に弱いので、平坦な林道や土場での作業となります。そこで当塾では、小型の、間伐林内へ入っていきける林内作業車と総称される機械の中から「キャタトラ」・「ロギングトラクタ」という機械と、ちよつと重けれど携帯可能な木寄せウインチ「ひっぱり



絶妙コンビネーション集材

だこ」という機械の三種類の集材機械を使つて「出し」を試してみました。それぞれの機



赤い帽子を引っ張れ引っ張れ



目立て...現場編

今回の内容

通年コース第九・十回
 8月22、23日(金土)
 伐出

一日目

8時30分 鳥崎先生の山小屋に集合。先生方の挨拶のあと、日程説明・班分け。伐倒と三種類の集材方法を半日ずつ交代で。集材機械はそれぞれ特徴が違うので、運転だけでなく、どんな集材方法なのかを存分に体験して下さい。

8時45分 体操をして、現

9時 各班に分かれて作業開始。一班は伐倒・二班はロギング・三班はキャタトラ・四班はひっぱりだこ。林内作業車は、まず走ってみてからの集材となりました。

12時 現場にて昼食。
 12時45分 作業再開。各班次の作業へ。一班はひっぱりだこ・二班は伐倒・三班はロギング・四班はキャタトラ。
 16時 作業終了。小屋へ戻り解散。

二日目

8時30分 鳥崎先生の山小屋へ集合。日程説明の後、



伐倒も様になってきました

体操

9時 現場着後、作業開始。一班はキャタトラ・二班はひっぱりだこ・三班は伐倒・四班はロギング。

12時 今日も現場で昼食。昼休みに三年生の佐藤(誠)さんが「スモールログミル」なる簡易製材機の出張実演を開催してくれました。チェーンソーに取り付けた簡単な治具で現場製材。

12時45分 午後の部開始。各班次の作業へ。一班はロギング・二班はキャタトラ・三班はひっぱりだ

こ・四班は伐倒。

15時45分 作業終了。小屋へ戻り、先生の講評。

16時 解散。暑い中、ご苦労様でした。

参加者/相内さん、阿部さん、井伊さん、大河内さん、岡崎さん、小栗さん、小笠原さん、椎名さん、重松さん、園田さん、滝口さん、武田さん、西村さん、日比野さん、茂籠さん、矢島さん、風見さん、長坂さん、佐藤(誠)さん、池田さん、藤本さん

講師/保科先生、島崎先生

スタッフ/大野、小泉、川島

後藤、早川、坂野

次回以降の予定

第十一回

9月19日(金) 見学

倒された木はどこへ運ばれようかってゆくののか。

午前中は、長野県森林組合連合会の伊那木材市場にて材木流通の一端を見学し、午後は、有賀建具店さんにて建具の加工や材見本を見学させて頂く予定です。8時30分に島崎先生の山小屋へ集合して下さい。

担当は、島崎先生です。

第十二回

9月20日(土)

枝打ち

いよいよお待ちかね、枝打ちです。ぶりの縄の作成から木登り、そして枝打ちです。子供の頃に帰ってまず木に登る練習。高さに慣れたら枝打ちです。何のための枝打ちか、という目的を見失うと時期や方法を間違えてしまいます。その



ポパイなロギング

あたりをしっかり聞いてください。また、保科先生愛用の「両刃の鉈」や「あぶみ」も必見です。

8時30分に島崎先生の山小屋へ集合して下さい。

担当は保科先生です。

専門コース

第三回開催

10月2日(木)

14日(土)

今年度最後の専門コース開催となります。間伐現場など詳細は追ってご連絡致します。



右のレバーが...?左のレバーで...?



あなたも一台いかが?...スモールログミル



リレー通信

やっと森林塾の門をくぐれました！
小野沢 武生

こんにちは、森林塾山小屋からスーパの冷めない距離に住んでいます伊那市の小野沢と申します、どうぞよろしく。

今回、念願かってKOA森林塾の「短期集中講座」に参加でき、とても良い経験をさせていただきました。実は仕事柄、土日の絡むイ



「野ッパ」があるの当たり前前と思つていました。近所の農家の庭にはとても大きなケヤキ

ペントには参加できなかった為、近くにいながら皆さんの講習風景を横目で見ながら通り過ぎていたのです。「横目で通り過ぎる?」「んっ?」とお思いでしょう。皆さんが朝、車を止める鳩吹公園の駐車場に私は毎日、犬と散歩しているのです。いつだったか駐車場で朝食をとっていた参加者の方のパンをうちの犬が食べてしまったことがあります。山小屋にも二度ほど侵入し、雑巾がけして帰ったこともあります。(その節はほんとにごめんなさい!) 昨年の通年コースでは、私の家のすぐ近くを間伐していただきましてありがとうございます。おかげで冬の雪が早く溶けるようになり、暮らしやすくなりました。「木彫りの彫刻があるところ」そこが私の住まいです。(わかりますか?)

や櫻がズドンと立っており、夜通るのがとても怖かったのを覚えています。そんな森も私が大きくなり就職するころには、皆伐され大きな倉庫や工場、運送会社の駐車場などに変わっていききました。それでも残っている森に、ある秋バイクで出かけてみると紅葉がとても美しく、澄んだ森の空気がそこにありました。落ち葉の中をゆっくりバイクで進んでいくと、落ち葉の触れる音がたまらない癒しの音に聞こえたのです。ある時を境に森の表情は変わりました。不法投棄によるゴミや産廃場から出る灰で森は真っ白になったのです。思えばこれが長野に来たキツカケなのもかもしれません。(他にもあるんですけどね、長くなるので省きます) 幸いにも今回参加されていた埼玉の島田さんから「あの辺もずいぶん良くなりましたよ!」とお聞きし、少し安心しました。クワガタが戻ってくるのいいですね!

長野に来て生活を始めた私は、素敵な世界に足を踏み入れました。まず仕事、薪ストーブ屋です。こつちに来るまでそんなものが今も売られているなんて思ってもいませんでした。しかも専門店。おまけに「かっこいい!、あったかい!、しあわせ!」 当然惚れました。そしてある会社にいきなり履歴書持って「なんでもするから入れてくれ!」と言いにいきました。それが今の私の職場です。ある時、お客さんから県で行なっている「信州きこり講座」なるものがあるというのを知り、平日休みの私でも行ける事を確認したので、ハッキリ受けて行きました。実は以前、会社の仲間と三人で太い桜の木を取りにいった時、斜面にある木をチェーンソーで切っていて、木が転がり仲間が危うく木の下敷きになりそうな状況がありました。それから木の切り方やチェーンソーの扱い方を一から学びたいと考えていました。「信州きこり講座」では回数を重ねる度に、林業について森について、いろいろな事がわかる反面、この知識や技術をもっと身に付けたらと思うようになりました。そんな折、この短期集中セミナーを知った私はいてもたってもいられず会社に相談しました。帰ってきた答えはこうでした。「これからは会社にも森や林業、樹木について詳しい人材が必要だと考えています。君は適任だから是非受けてきなさい」と言っていたとき、今回の参加が実現しました。うれしさ反面、責任重大です。このレポートと平行して会社への

話は変わって私の趣味を少し、薪集め、ログワーク、チェーンソー彫刻、すべて長野に来てから始めたものです。これら三つで私のプライベートの時間は無くなります。森暮らしは忙しいという事が最近わかりました。新しい木もググにしても、材はおかげさまで必ずどこかでした。材木もなるべくみずみの平地林の間伐材を利用していきます。最近近所の方にも「うちの山の栗の木を持っていつてくれ」とか「切ったサワラを彫刻に使わないか?」とお話をいただくこともあります。いつか地元の小学校に間伐材で作ったトーテムポールや彫刻をプレゼントしたいなと思つているんですけどね。森林塾の山小屋にもひとついかがですか? プレゼントしますよ!

最後に森林大国の日本が現在、林業が産業として栄えていない現状は、とても悲しい事です。森林はもつと人間による手入れが必要なのに林業に従事する人達がどんどん減少している、私が将来どのような形で森との付き合いをしていくか?今はまだわかりません。けれども必ず来たるべき時が来る事を信じて今後も知識と技術を身に付けていきたいと思います。来年は通年コースでお世話になります。



リレー通信

笹原 洋

今年夏の夏集中コースに、参加させていただいた笹原です。長い梅雨空が続いて心配でしたが、丁度梅雨明けとなり、初心者私には幸いでしたが、その後が良くないようです。早速リレー通信の依頼がきました。皆さんの通信を読むのは楽しいんですが、今年十一月に定年となりますが、去年から将来の生き方を探していました。頭の隅にはNHKで放映された「信州大 学ゆかりの人による山の再生」があり、図書館でNH



しかし、集中コースがあり、これに参加した次第です。来年は通年コースに参加するつもりです。

森林ボランティア

Kの記録や信州大学関連の人名録 インターネットなどで検索しましたが、いかんせん名前を川島先生と思いついていたため、探せず放っていました。今年の三月中旬から本気になって探し、信大の公開講座から、島崎先生の名前を発見して、思い違いとわかりました。前回の検索で“KOA森林塾”は見ましたが、抵抗器のKOAの先入観があり、まさかと思いい、詳しく見てなかったようです。近年ISO9001や14000を取得し、アピールしている企業が多々ありますが、売上や利益が優先され、真に購入者の利益(購入者の利益とは何か?)を定義するのは難しいと思いますが)となっているのは疑問です。KOA株式会社は素晴らしいと思えます。話はそれましたが早速通年コースの入塾案内を見ましたが、時既に遅しでした。

ミルフォードトラックを歩いて

丁度林業について検索している時期に、山歩きの仲間からニュージーランドの“世界の散歩道”といわれているミルフォードトラックに行かないかと誘われ、一も二もなく承知してしまいました。家内には冷たい目で見られましたが、これもNH

Kの世界のトレッキングルートの映像を見た記憶があり、外国の原生林を見てみたいという意識が働いた結果でしょう。ミルフォードトラックはニュージーランド南島の南西部にあり、約60kmのトレッキングルートです。氷河の爪跡のフィヨルドが沈降して作った入江と山に年間約六千ミリの雨量があり、特異な原生林が発達しています。

自然環境の維持と保全のために、このトラックには、一日五十人程の宿泊者しか受け入れません。素泊まりの入山者も同じ程度ではないでしょうか。そのため一月の日程で申込していたのが三月にずれ込んでしまいました。入国の時も動植物の持込みに厳しく、登山靴の泥(種子の付着)を落とされた人もいました。日本でもようやく入山者を制限し登山道の荒廃、植生の消滅、各種残渣による汚染などの対策を検討し始めています。列島改造からパプルの時代まで、これと逆の施策を進めていたように思います。

高さ四十mのものが、疎な状態で原生林となっていていました。下生えはシダ類が多く、日本ではみられない特異な風景でした。特有な気象・立地のため、樹木、野草、きのこをはじめ、昆虫、野鳥も限られた種類しかいないようでした。特に哺乳動物には出会っていません。環境が厳しく守られて、閉じた自然でもあります。

世界的に見ても貴重な自然といえます。いろいろ書いてしまいましたが、いいなかったのは以下のことです。豊かな自然(山・川・土・海)を生み出すのは、国土の七十%をしめる山林です。その山林を生かす手助けを、わずかでできればと思っています。今後ともよろしく、お願いいたします。

てきちゃったんですけど、「ダメダメ、返してきなさい。」の一点張り。仕方なく店を後にした私は、本当に駒ヶ根までその子を返しに行ったのであります。暇人です。

嘘子



コラム

先日、駒ヶ根市内のとある場所であから落ちたツバメの子を拾ってしまいました。どの巣から落ちたのかわからないので、高い高いところに見上げてみると、高い高いところにお家があり、「どうやって、どこかへ飛んでいって、困ったなあ・・・。よし、連れて帰ろう。」と伊那まで連れて帰ってきました。

驟雨が秋雨にかわり、少し高く薄い色になったような空やいくぶん乾き加減の風が、秋の気配を漂わせているけれど、今年は秋も、らしくないのかしらん?。去年は降らない雨に気を病んで、今年は降ってばかりの雨に気を揉んで・・・。

海外に行ってみて あらためて日本各地の特徴のある自然、その自然が生んだ文化の素晴らしさを、おりにふれ感じる今日この頃です。北海道の亜寒帯から沖縄の亜熱帯の気候があり、さらに四季の変化が多彩です。

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、ご要望、事務局まで。 TEL 0265-70-7065 FAX 0265-70-7994 E-mail: ki-hayakawa@koanet.co.jp sh-sakano@koanet.co.jp 携帯:090-4463-0062 (開催日) H.P.http://www.koanet.co.jp

